

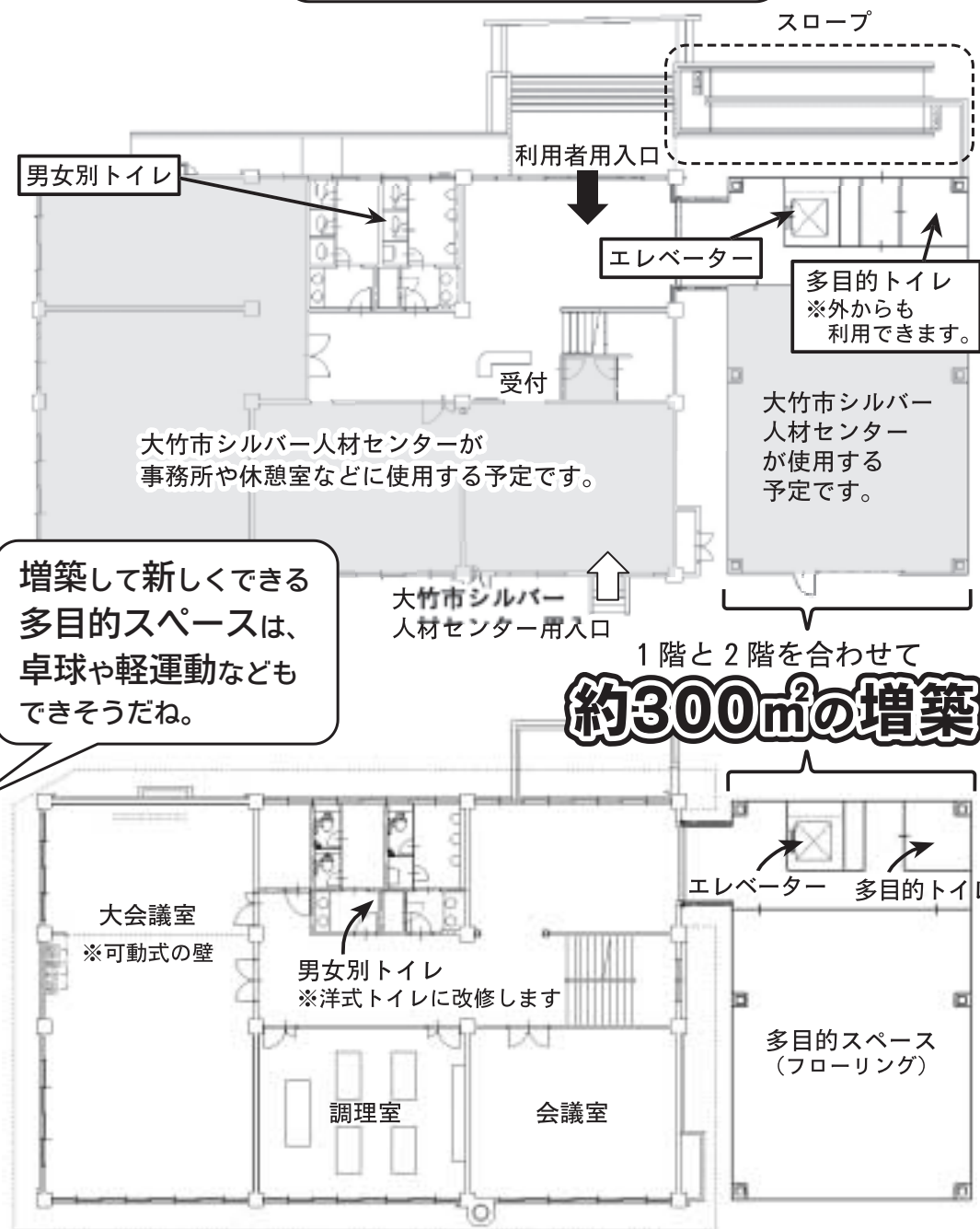
2階は住民団体・生涯学習グループ

などが利用できます。

2階は市民がさまざまな活動に利用できるスペースとし、大竹市シルバー人材センターに管理を委託する予定です。詳細は、まだ決まっていますが、利用時は1階の受付で手続きを行う予定です。

【予定する改修後の姿】

エレベーターに、多目的トイレ。
便利になって、避難場所
としても安心だね！



1階

2階

楽しみだね

—社会教育施設等の再編—

生まれ変わる小方公民館の方向性②

10月号では、小方公民館がどのような施設に生まれ変わろうとしているのかを紹介しました。今回の「いっしょに考えよう」では、「(仮称)地域福祉社会館」の現時点で予定している管理の方法や改修内容を、コイちゃんのご案内します。

いっしょに



考えよう⑬

公共施設マネジメント

問い合わせ
企画財政課 ☎2125
保険介護課 ☎2144

活動拠点を 1階に移転予定

大竹市シルバー人材センターの活動拠点は現在よりも環境が良くなり、元気な高齢者の一層の活躍が期待されます。

現在の活動拠点である旧公害監視センターは、男女別のトイレや更衣室、会員用の休憩場所がないなど不便な点が多くあります。(仮称)地域福祉社会館に活動拠点を移すことで、環境面での課題が解消され、高齢者の雇用・就業の機会の確保に向けより一層の推進が期待できます。

(公益社団法人)
大竹市シルバー
人材センターに
(仮称)地域福祉社会館の
管理を委託予定

高齢者福祉の 増進が目的の組織

シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に規定された団体で、市町村の区域ごとに、1つに限り県の指定を受けて設置されています。また法律には、高齢者の意欲および能力に応じた雇用や就業の機会を確保するための施策を推進する責務が、市にあると規定されています。

このことから市では、大竹市シルバー人材センターの運営面などを支援しており、今回の(仮称)地域福祉社会館への移転について支援するとともに、施設の管理を委託する方向で検討しています。



“おたけ”
PRキャラクター
「コイちゃん」

地域のつながりの 進展を期待

市では、介護保険制度の見直しに伴い、生活支援サービスの充実に取り組みんでいます。大竹市シルバー人材センターも、その担い手として、地域のつながりの進展に貢献すると考えています。

市は、高齢者が可能な限り、働いたり、ボランティアなどの活動をしたりすることで、生きがいを持ち、健康を保持してほしいと考えています。特に今後、若い世代の減少が見込まれる中で、元気な高齢者は、介護や支援が必要な高齢者を支えていただく必要があります。(仮称)地域福祉社会館が、そうした活動の場として活用されるとともに、シルバー人材センターの活動が、この「お互い様」の関係を築き、地域のつながりに進展していくことを期待しています。